

令和4年度第2回地域福祉専門分科会の確認事項

1 中間見直しの視点

- (1) 計画策定後の経年変化に伴う現状を把握し、新たな取組み・目標設定を行う。
- (2) コロナ禍における行動制限緩和の傾向、with コロナの「新しい生活様式」などを考慮した取組みを計画に盛り込む。

2 中間見直しの考え方

- (1) 地域福祉を取り巻く状況の再確認
 - ア 各種統計データ…（要支援者、活動者、社協地区部会の活動状況等）の推移
 - イ 国・県・市の計画等の策定・更新…（国）第二期成年後見制度利用促進基本計画、（県）第四次千葉県地域福祉支援計画、（市）基本計画・再犯防止推進計画等
 - ウ 令和3,4年度の事業の実施状況…減少したままか、回復傾向にあるか
 - エ 新規施策…重層的・包括的支援体制の構築等
 - オ 市民意識の変化…地域福祉活動に対する認知・参加状況、阻害要因等
- (2) 地域の取組み（区支え合いのまち推進計画）における「具体的な取組み」及び「重点取組項目」の策定の検討（花見川区は策定済）
- (3) 市の取組みにおける取組事業の見直し及び数値目標の設定

3 令和4年度第2回地域福祉専門分科会における委員からの意見等と市の考え方

区分	No.	ご意見等の内容（要旨）	市の考え方
地域の 取組み	1	コロナ禍を理由に以前行っていた取組みを中止したまま再開しない傾向があり、衰退してしまうことを危惧している。	現計画においても、持続可能な地域づくりの施策の一つとして、地域福祉活動の再開・継続への支援の取組みを位置付けているところですが、ご意見を踏まえ、新型コロナウイルスの感染状況を見ながらの取組みの再開、また、新しい生活様式を踏まえた新たな手法による取組みのリニューアルを図ってまいります。
	2	取組みを数年取りやめていると再開するには非常にエネルギーが必要となる。	
	3	コロナ禍においても、感染対策等工夫して取組みを実施することができるので、前向きに取り組んでほしい。	
	4	コロナ禍で外出が少なくなった高齢者のフレイルが深刻な状況にある。	
市の 取組み	5	重層的・包括的支援体制の構築について中間見直し版に掲載する予定か。	現計画においても、あり方の検討については掲載しているところですが、一定の方向性がまとまる中間見直し版には、具体的な内容を掲載する予定です。